



学校だより

校訓：強き 正しき 温かき

金沢市立森本小学校
令和6年10月28日
校長 坂井 文代

白露もこぼさぬ萩のうねりかな 松尾芭蕉

◆思いを伝える

以前、読売新聞に「横断歩道で歩行者が手を上げれば車の9割近くは止まってくれる」という記事が載っていました。長野県の高校生が、自宅近くの横断歩道で渡る前に手を上げたときとそうでないときの車の停止する割合を調べたところ、手を上げないときは35%だったのに対し、手を上げたときは88%だったそうです。調べた高校生は、「渡りたい思いを伝えることが大事」とまとめていました。

横断歩道に歩行者がいたら、車は止まるのがあたりまえ・・・ですが、そう思うと止まらない車に対して「どうして止まらないのか」と、いらだちを感じてしまいます。ところが、車を運転している方はうっかり通り過ぎてしまうこともあります。

同じようなことは日常生活の中でも思い当たります。自分から「私は〇〇してほしい」「私は〇〇したい」と相手に思いをきちんと伝えることで、スムーズに行くこともあります。相手がしてくれないと不満をもつ前に、まずは自分の思いをしっかりと伝えているかな・・・と自らをふりかえることができる子になってくれるといいなと思います。



◆連合音楽会お披露目の会

10月25日（金）の朝、連合音楽会に向けて練習を重ねてきた5年生のお披露目の会を行いました。5年生の保護者の方にも聞いていただき、子どもたちは歌劇座での本番に向けて気持ちが高まったようです。

この時期、中学校でも合唱コンクールが盛んに行われていますが、合唱の魅力は「たくさんの声が重なることで生まれる音色の美しさ」です。一人一人の声が集まり互いに溶け合うことで、広がりや深みのある響きが生まれます。

でも、たとえみんなが同じことを同時に歌っていても、お互いにバラバラなことを考えていれば美しい響きは生まれません。大切なのは歌う人みんなが「気持ちをひとつにそろえること」です。楽しい曲ならその楽しさを、悲しい曲ならその悲しさを、全員が一緒に感じながら歌うことで、聞く人の心に響く歌になると思うのです。

子どもたちにはそんな「気持ちをひとつにそろえること」を、合唱を通して学んでほしいと願っています。連合音楽会は30日です。歌劇座での子どもたちの姿が楽しみです。

